

第3回川口駅周辺在り方検討委員会 会議録

日 時 令和7年9月26日（金） 開 会 14時00分
閉 会 16時00分

会 場 川口市役所第一本庁舎6階 601会議室

出席者 【委 員】

◎久保田尚	○樋野公宏	田中宣充	堀彰光
白井慎一	筒井毅	神保成究	松本章宏
多田聡	藤田茂		
栗原明宏	松本敦	江原李佳	阿部康巳
佐藤貴彦	大沼伸康		
◎座長	○副座長		

【オブザーバー】

田嶋靖夫 青山琢人 石川修（代理出席）小森敏
竹内秀行

事務局 【川口市】

都市計画部次長兼都市計画課長	鈴木 巧
都市計画課施設計画係長	川合 翔二

[議事要旨]

（1）第2回委員会の振り返り

【説明】

事務局より、資料1に基づき説明を行った。

【質疑応答・意見】

・副座長

近年の猛暑がまちづくりに与える影響は顕著であり、「気候変動への適応」についてまちづくり指針に反映していただきたい。

- ・事務局

ご指摘いただいた事項は駅周辺に求められているポイントと認識しており、指針への反映を検討したい。

議 題

(1) 川口駅周辺における具体的な取組内容（案）について

【説明】

事務局より、資料2および資料2（参考資料）に基づき説明を行った。

【質疑応答・意見】

- ・委員

川口駅周辺まちづくりビジョンの「働き、憩い、文化・芸術に親しめるまち」の「働き」に関して、具体的に触れていただきたい。触れられないのであれば、「働き」ではなく、「集い」のほうが内容的に適切かもしれない。

- ・委員

駅周辺の企業によると、京浜東北線が止まると半分以上の社員が集まらないため、1路線では会社としてきついという意見を聞いたことがある。今後、2路線が停車できることで、会社のポテンシャルが上がると考えている。

- ・事務局

「働き」に関する具体的な取組としては、取組④（P12）の「周辺市街地における機能配置」において、「駅周辺のにぎわい創出や、多様な暮らし、働き方を支援するための機能の導入」としてシェアオフィスなどを掲げている。2路線の停車により、会社のポテンシャルが上がることはあり得ると考えている。川口駅周辺まちづくり指針の理念に「働き」の要素をどこまで書き込むかについて検討していきたい。

- ・委員

川口駅周辺において、在宅勤務やシェアオフィスなどがどのくらい増えているのかの調査を行い、増えていれば検討を行う方がよいと思う。

- ・事務局

川口駅周辺で、どのような「働き」の機能が上野東京ライン停車後も求められているのかについて、検討していきたい。

- ・ 委員

川口駅が他の駅と差別化できる点としては、川口市には多様な施設があり、乗換がしやすい点である。例えば、鳩ヶ谷駅行きのバスが川口駅へ乗り入れたときに目的地までどのくらい時間を短縮できるか等、他の駅よりも便利であることを追求していくことが、川口駅の交通手段に大きく影響すると考えている。

また、駅周辺のエリアマネジメントに関して、委員を中心に大型施設を1つのネットワークとした売り出し企画がある。大型施設と川口駅をつなげられるよう突き詰めていければよいと思う。

- ・ 事務局

川口市の隅々まで移動しやすくする点は最も重要だと考えている。本市の多様な施設と川口駅をどのようにつなぐかを考えていきたいと思う。この点に関しては、交通事業者と相談しながら進める必要がある。具体的な内容は引き続き、検討を進めていきたい。

- ・ 委員

赤羽駅から乗車した場合の鳩ヶ谷駅行きのバスに関しては、新荒川大橋の渋滞が酷く、乗車された方から遅延に対する声をいただくことがある。以前は、新荒川大橋を渡らずに鳩ヶ谷駅と川口駅とつなぐというアイデアもあった。しかし、今の川口駅の駅前ターミナルでは、今以上に新しい乗り場を増やすことができない。

「歩行空間・公共交通・自家用車」の考え方により、広場の使い方や配置が変わってくると思う。自家用車と分離して歩行空間を確保すると、バス乗り場が狭くなる。新しい路線を引き入れるためには、乗り場が狭いことを問題とさせていきたい。

- ・ 委員

大宮駅とさいたま新都心駅では、ペデストリアンデッキを活用したバス乗り場があり、バスの行き先が分かりやすい。川口駅前ではバスの出入りが一方通行であるため、その作りを解消できるような駅前の開発を進めていきたい。

- ・ オブザーバー

「うめきた」のエリアマネジメント活動や滞留空間の活用を継続的に行うためには、時代の変化に合わせて、臨機応変に取組内容を調整していく必要があると思う。エリアマネジメント活動をするためには、前段として、エリアプラットフォームが重要であり、こういった視点で議論を深めるとよいと思う。

- ・オブザーバー

エリアマネジメントを行っている自治体では、試行的な小さい社会実験から始まり、これを徐々に発展させていく形が多い。ハード整備の前段階として、小さな社会実験など、できることからやっていくことを積み重ねた上で、ハード整備後の利活用を検討することがよいと思う。

- ・事務局

昨年度、樹モール商店街でベンチを置くなどの社会実験を行った。こういった取組をどのようにしたら継続できるのか、エリアマネジメントの体制とどのように絡むことができるかなどを考えながら、勉強していきたい。

- ・委員

川口市の商業の部分では、施設同士の連携がとれる形になってきた。ルールや指導方針があれば始動できる状態である。

川口駅周辺在り方検討委員会での意見の集約が指針になるが、今後、駅舎ができるときには今と変わったまち並みになっていると思う。そのため、今後を見越した上で、柔軟な対応ができるようにする必要があると思う。

- ・事務局

今後 15 年を見越して検討していくことから、「柔軟性の確保」という視点を盛り込んでおり、今後の状況を踏まえながら柔軟に検討を進めていきたい。

- ・委員

他の事例を参考に川口市の特性や将来の需要に合わせた検討を行うために、事例集を作成したほうがよい。様々な良い事例があるため、川口市が良いまちとなるように良いところを取り込むことが必要だと感じた。

- ・オブザーバー

川口駅に求められることは、川口市民や川口駅周辺事業者から見て川口駅周辺をどのように整備するとよいか、そして川口駅以外からみて上野東京ラインはどのような特徴があるのかの 2 点である。前者は今検討されているが、後者を改めて考える必要がある。遠い場所と川口駅が結ばれることは、広範囲の地域から川口駅周辺に多くの人やモノを集める可能性がある。広範囲の地域から人を集めるためには、駅を作るだけでなく、どういう機能を導入・誘致し、どういう役割を川口市が担うのか、首都圏の中で川口市はどんな都市を目指すのかというビジョンが必要だと思う。川口駅周辺を広域拠点として成長させる都

市としての戦略を期待している。

- ・ 委員

シェアオフィスはどこの駅前にもあるが、川口駅で降りてシェアオフィスを利用したいと思えるような駅前の魅力を大きくするのがよいと思う。川口駅を利用することで、飲食などの収益が上がると考えている。

アンケートの意見から、回遊性を高めるためにどうしたらよいか、雨に濡れずに移動できる駅前のためにどうしたらよいかなどを考えた方がよいと思う。

- ・ 委員

川口銀座商店街で AI カメラを導入しており、来訪者の滞留や行動、使用した交通手段などが分かるデータを持っている。このデータを解析し提供することで、駅舎の工事による駐輪場不足などを検討して、お互いに理解を深めたいと思う。

- ・ 副座長

「取組を進める上で考慮すべき視点」が非常に重要だと思う。都市計画では、先進技術の活用により柔軟性のある計画を行い、それを運用することがエリアマネジメント体制であるため、先進技術や柔軟性、エリアマネジメントは関係性があると思う。土日によく使用されているキュポ・ラ広場は社会実験の場所としてよい場所だと思う。西口の公園のイベント広場とは対になっているポテンシャルがあるので、もっとうまく活用できるのではないかなと思う。

「働き」に関して、オフィスに行かないような働き方は徐々に進んでいくと思う。自宅で働ける環境や最寄り駅で働ける環境を多くの人が望んでいると思うので、「働き」は何かしらの形で残した方がよいと思う。

- ・ 事務局

キュポ・ラ広場を再整備していくことになった場合には、交通の面で技術的な検討を行っていかなければならないと思う。暫定的な利活用としてイベントなどを行っているが、賑わいのための利活用を検討していきたいと思う。

- ・ 座長

駅前広場の構成として、公共交通のみの構成を1つの例としているが、その場合、自家用車の乗りつけ口をどこに作るかという問題がある。そのため、全国の事例を見ながら、川口駅でどの事例なら可能かといったことを検討していただきたい。

地下駐輪場を別の用途に使うことで多層的に駅前広場を使うことができる可能性がある。そのため、耐震性などから利用できるかを知ることが非常に重要であると思う。

ペDESTリアンデッキを降りてからの動線も着目するべきだと思う。例として、ペDESTリアンデッキを降りてから樹モールまでの道がウォークブルになっていない。その道をどのようにしていくかも大きなテーマだと思うので、取組に盛り込んでいただきたい。

また、川口駅周辺の交通ネットワークを歩行者と車の両方から検討していくことや、回遊性を作っていくことを盛り込んでいただきたい。

- ・事務局

地下駐輪場の老朽化状況から、今後、技術的な検討・検証を次年度以降、早めに行っていきたい。

また、樹モールまでの回遊性について、成果に反映できるように検討したい。

- ・委員

川口駅周辺まちづくりビジョンの「働き」については、川口駅周辺で働いている人や、中距離電車の停車により生まれた新たなビジネスで働く人が増加すること、シェアオフィスで働く人などがいると思う。

「働き、憩い、文化・芸術に親しめる」とある中でシェアオフィスの「働き」しか出てきていない。そのため、「働き」に関して多様な「働き」を語っていただきたい。

- ・事務局

書き方を検討していきたい。

- ・委員

当委員会の検討の対象範囲として、駅まち空間としているが、駅周辺の地域だけでなく、川口元郷駅を含めたコンパクトシティ構想を検討する必要がある。樹モールとつながる動線を考えると駐車場の配置転換などの方法を検討しなければならない。川口駅周辺は余白があまりないため、川口元郷駅あたりまでの範囲を駐車場等の代替地として考えないと、15年の間に工事を頻繁に行うことで行政として息切れする可能性があるという不安がある。広域で検討した方がよいと思う。

- ・事務局

駅まち空間に対象範囲を絞ったが、広域的な視点で検討していきたい。

閉 会

事務局から、閉会が宣言された。